

## わずか 3 時間の研修で社員を自己意識の高い「プロ社員 & ミニ社長」に変貌させませんか？

### 3 時間の研修の意義と概要

- AIの進化で、すべての社員が世界を相手に自己意識の高い「プロ社員 & ミニ社長」になることが求められています。
- そのためには、一人一人が仕事や事業について自主的に価値を定量化して、客観的に金額で示してコミュニケーションする能力が求められます。
- 3 時間の研修で、誰もがそれが可能になる、JPRオリジナル「GCC 9 BOX™※」(エクセルシートA4・2ページ) の作成の指導します。
- スコア化する喜びで仕事を「ゲーム化」し、社員がワクワクして計算できるように創業20年超の経験に基づく創意工夫で和気あいあいと楽しく研修。
- 研修参加者は、JPRのアフターケアもあり、「GCC 9 BOX™」を自由自在に活用し、価値をワクワクしながら定量化するノウハウを取得し翌日から実践へ。

※ジェイ・フェニックス・リサーチ株式会社（以下「JPR」）が開発した、ノーベル経済学賞受賞のモリアーノ・ミラー教授が確立した企業価値の理論（MM理論）に基づいたフレームワーク、Growth(売上成長)、Connection（人・事業のつながりの改善＝資本の利益率向上）、Confidence（信頼向上＝事業リスク低下、資本コストの低下）の3要素を重視する「GCC経営™」の視点で作成されている。実際にこれらのノウハウを使って証券アナリストレポートを作成してグローバルに配信（<https://www.j-phenix.com/reportlist/>）、GCC経営™の詳細は、「<https://j-phenix-research.notion.site/ROIC-2ee078955fca45bfb5791f6aed365a8a>」を参照。

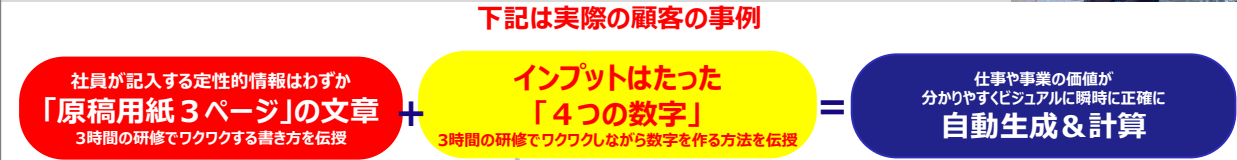
### こんなニーズに最適

- 社員一人一人が、長期的な視点で、社長的な発想で、売上高のみならず、コスト構造、バランスシートの発想、10年ビジョン、リスクなどを総合的にワクワクし、自主的かつ理論的に適切に判断し数字で考えてもらいたい。
- 多様な事業・新規事業の価値に定量化して同じ形式で簡単に多様な価値観を持つ社員を巻き込んで共有言語で比較したい。
- 上場企業、上場を目指す企業で、社員が丸となって定量的に価値創造のデータをつくり、それを銀行や投資家に伝えたい。
- 上場企業の人的資本経営の研修の内容としてこれを有価証券報告書で開示して、投資家の信頼を勝ち取りたい。
- 東証の求める「資本コストと株価を意識した経営」を社員レベルから強化したい。

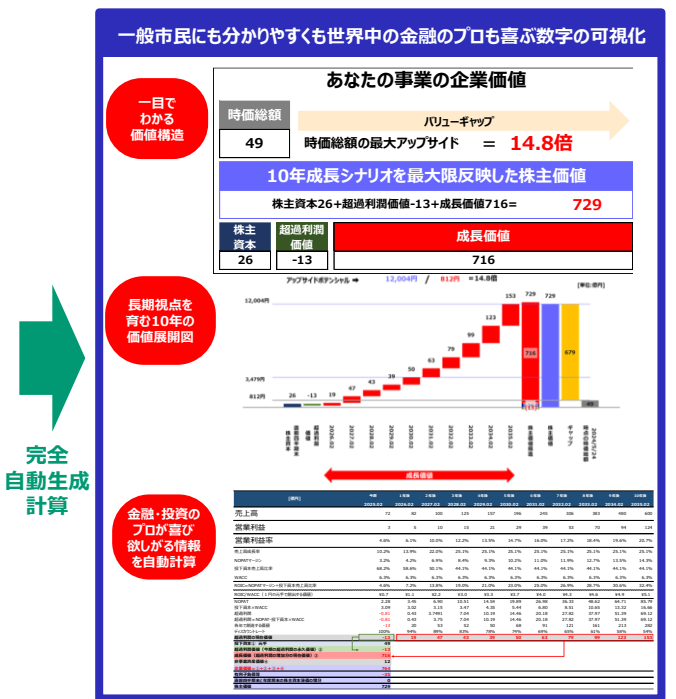
社員が思わずワクワクして自主的に使いたくなるJPRオリジナル

## 企業価値の算出支援エクセルシート

# 「GCC 9 BOX™」



Growth: 日本を前進させ続ける!		売上高
価値観・世界観	提供価値・成長性	10年のCAGR23.9%
安全で信頼性の高いデジタル社会	スマートシティの高成長を享受	720億 → 1600億
1	2	3
Connection: 高度なテクノロジーとパートナー戦略		716億円
戦略	ビジネスモデル	目標の資本収益性
高度なテクノロジーパートナー戦略	利便性・満足度・安全性・他事業性向上	27.7%※ポイント改善が期待
4	5	6
Confidence: 財務安定性の向上・社会の持続性貢献が本格化		74.4% > 42.6%
財務的な持続可能性	持続可能性への貢献	超過利潤価値
デジタルリスク領域で安定基盤確立へ	社会を安全に前進	-13億円
7	8	9
		株主資本
		26億円



1 ページ目 Input  
定性的なストーリーを価値の3要素で分類し定量的情報と結びつける

2 ページ目 Output  
10年の長期的な企業価値が詳細に計算